

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年11月17日 (2016.11.17)

【公開番号】特開2014-198139(P2014-198139A)
 【公開日】平成26年10月23日 (2014.10.23)
 【年通号数】公開・登録公報2014-058
 【出願番号】特願2013-74727(P2013-74727)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 9

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月29日 (2016.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体を用いて遊技が行われる遊技機であって、
複数の発光源を有する発光手段と、
該発光手段の前側に配置されて第 1 の装飾を有するカバー部材と、
前記発光手段と前記カバー部材との間に配置され、前記発光手段から照射される光に応
じて装飾される第 2 の装飾を有するカバー内装飾部材と、
該発光手段を発光制御する発光制御手段と、を備え、
前記発光制御手段は、前記発光手段を発光制御することで、前記カバー部材の前記第 1
の装飾と、前記カバー内装飾部材の前記第 2 の装飾と、を組み合わせた立体的な装飾を実
現し得る

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

近年の遊技機では大当り遊技状態として大当り図柄の種類に応じて実行されるラウンド数を異ならせることによって獲得可能な賞球数が異なる複数種類の大当り遊技状態に制御するものが提案されている。このような遊技機では演出用部材を発光させることで大当り遊技状態の発生に対する期待を高めるようにしている（例えば特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、上記遊技機のような従来と同様の構成では、斬新さに欠け、遊技興趣を

低下させるおそれがあった。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は上記の実状に鑑み、遊技興趣の低下を抑止可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために請求項 1 に係る発明においては、遊技媒体を用いて遊技が行われる遊技機であって、

複数の発光源を有する発光手段と、

該発光手段の前側に配置されて第 1 の装飾を有するカバー部材と、

前記発光手段と前記カバー部材との間に配置され、前記発光手段から照射される光に応じて装飾される第 2 の装飾を有するカバー内装飾部材と、

該発光手段を発光制御する発光制御手段と、を備え、

前記発光制御手段は、前記発光手段を発光制御することで、前記カバー部材の前記第 1 の装飾と、前記カバー内装飾部材の前記第 2 の装飾と、を組み合わせた立体的な装飾を実現し得ることを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

このように、本発明によれば、遊技興趣の低下を抑止可能である。